

日本薬史学会 2025 年会プログラム

日 程:2025 年 10 月 4 日(土)

場 所:静岡理工科大学 静岡駅前キャンパス 4 階

受付開始(8:30～)

開会挨拶(8:50～8:55)

日本薬史学会 2025 年会 年会長 桐原 正之

口頭発表 I (8:55～9:54)

O-1(8:55～9:09)

カール・レミギウス・フレゼニウスゆかりの化学史跡について

○中辻 慎一(兵庫県立大・名誉教授)

O-2(9:10～9:24)

石館プロミン:犀川証言が教えてくれていること

○森本 和滋(日本薬史学会)

O-3(9:25～9:39)

過去の疫病の病原体解明は出来るのか? 天然痘を例に

○加藤 茂孝(東京慈恵会医科大学)

O-4(9:40～9:54)

半世紀使われてきた医薬品の現状分析 その 1

—1974 年と 2024 年の医薬品集収載品の比較—

○榊原 統子¹, 井上 彰¹, 伊東 弘晃¹, 松本 和男²

(¹日本医薬情報センター, ²ナールスコーポレーション)

休 憩(9:54～10:00)

特別講演 I (10:00～11:00)

含フッ素医薬品の開発史 ～毒矢からブロックバスターまで～
井上 宗宣 先生(相模中央化学研究所・所長)

休憩(11:00～11:05)

口頭発表 II (11:05～11:49)

O-5(11:05～11:19)

イブン・シーナとシルクロード都市ブハラ
○石田 純郎(中国労働衛生協会)

O-6(11:20～11:34)

明治初期に初めて病院薬局業務を確立したドイツ人薬剤師ニーウェルト
○小清水 敏昌(順大医史学)

O-7(11:35～11:49)

薬学史研究者奥田潤のインドと人間愛への探求 ―遺稿と画像から―
○夏目 葉子(名城大学薬)

休憩(11:49～13:05)

次年度年会長挨拶(13:05～13:10)

日本薬史学会 2026 年会 年会長

特別講演 II (13:10～14:10)

日本薬史学会 公開講演 *本公演は、一般の方も無料でご聴講いただけます。
世界史を変えた薬
佐藤 健太郎 先生(サイエンスライター)

ポスタ～発表(14:10～15:00)

P-1 戦前昭和期における漢方復興運動の特徴

○山形 悠(二松学舎大学文学研究科博士課程)

P-2 甲賀・日野地区の地場産業としての薬業の発展

—業務システムの転換と多様性—

○河合 政利(大阪大学大学院経済学研究科)

P-3 澤野医院記念館に残された医薬品・医療器具の調査研究(3)

○飯山 紗弓¹, 新井田 カリン リサ¹, 横田 真優毅¹, 劉 美琪¹, 小栗 勝也²,
桐原 正之¹(¹静岡理工大・理工, ²静岡理工大・情報)

P-4 明治時代の静岡県薬学史に関するメモ

○五位野 政彦(東京海道病院・薬剤科)

P-5 紫外線吸収剤の現代史と環境にやさしい紫外線吸収物質の探索

○松永 貴有来¹, 市川 恵介¹, 半谷 吾郎², 石井 貴広³, 鎌田 昂¹
(¹静岡理工大, ²京都大, ³琉球大)

P-6 日本のファーマコビジランスの変遷

～2025年薬機法改正まで～

○野村 香織¹, 宮崎 生子²(¹福島医大, ²帝京平成)

P-7 配置販売員教育の変遷

○山岡 法子^{1,2}(¹帝京大学, ²(一社)日本薬業研修センター)

P-8 関西学院理工専門部製薬工業科の興亡について

○宮崎 啓一¹, 村岡 修^{1,2}, 神田 健次³

(¹三栄化工株式会社, ²近畿大学名誉教授, ³関西学院大学名誉教授)

P-9 ソフトコーラルの天然物史

～沖縄の海に眠る薬箱に可能性を求めて～

○福重 綾花¹, 谷 和樹¹, 熊谷 百慶², 石井 貴広¹(¹琉球大, ²鹿児島大)

口頭発表Ⅲ(15:00～15:59)

O-8(15:00～15:14)

100年を迎える国際薬史学会の活動内容と日本薬史学会との関係

○但野 恭一(NuLink Co.Ltd., Japan, 日本薬史学会国際委員会)

O-9(15:15～15:29)

薬学教育の変遷 レジデント教育と職能拡大にむけて

○竹内 幸一¹, 伊藤 淳雄², 村田 正弘³

(¹ 明治薬科大学名誉教授, ² 康心会汐見台病院・薬剤科, ³ 元 NPO・SMAC)

O-10(15:30～15:44)

日英米におけるコミュニティ通訳史の展開と医療通訳の位置づけ

—薬学分野への示唆—

○佐藤 晶子¹, ○河野 弘美²(¹ 京都外国語大学, ² 京都外国語短期大学)

O-11(15:45～15:59)

多変量解析による緒方洪庵関連史料収載生薬の史料間比較

○森田 愛梨¹, 高浦(島田)佳代子^{1,2}, 善利 佑記³, 高橋 京子^{2,3,4}, 遠藤 雄一¹

(¹ 近畿大薬, ² 阪大適塾記念セ, ³ 森野旧薬園, ⁴ 阪大博)

休憩(15:59～16:10)

口頭発表Ⅳ(16:10～16:54)

O-12(16:10～16:24)

近畿大学所蔵の生薬標本の概況とAPG IVによる再分類

○谷本 明莉¹, 高浦(島田)佳代子^{1,2}, 善利 佑記³, 高橋 京子^{2,3,4}, 遠藤 雄一¹

(¹ 近畿大薬, ² 阪大適塾記念セ, ³ 森野旧薬園, ⁴ 阪大博)

O-13(16:25～16:39)

曲直瀬流の霊宝能毒系の薬物書の展開について

○鈴木 達彦(帝京平成大, 千葉大大学院)

O-14(16:40～16:54)

大和の中嶋家と蘇命散(そめいさん)

○西原 正和(奈良県薬事研セ)

休憩(16:54～17:00)

招待講演(17:00～17:50)

徳川家康公の漢方薬 ー医薬への関心と造詣ー

鈴木 寛彦 先生(むつごろう薬局・薬剤師, 東邦大学客員講師)

閉会の辞(17:50～)

情報交換会(18:00～20:00)